

平成 19 年 4 月 23 日

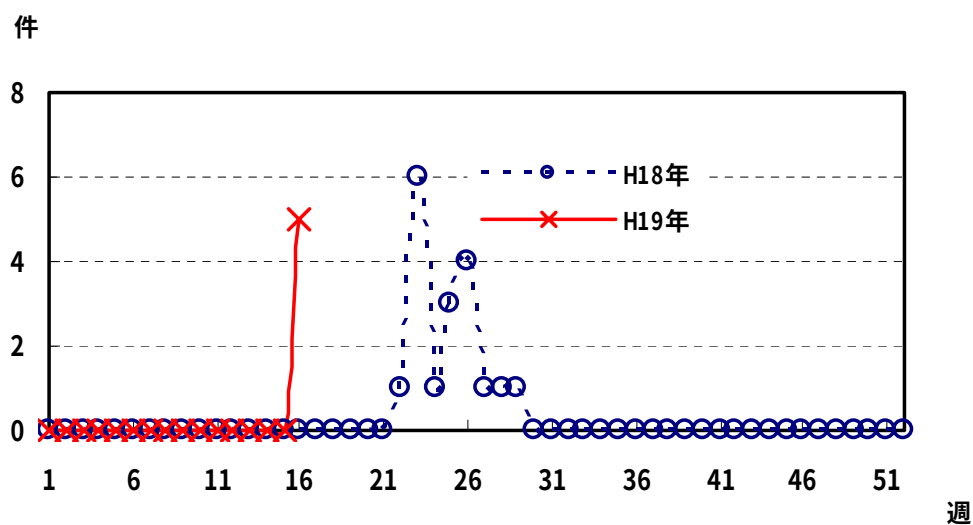
ヘルパンギーナの流行が始まりました！

大島町でヘルパンギーナの症例が急増しています（参照：グラフ 1）。症例は 1 歳～5 歳の幼児です。

家庭および保育園などの集団生活において以下の点に注意して生活してください。

- お子さんの急な発熱、口の中に水泡性の発疹があるなど、ヘルパンギーナが疑われる症状が出ていないか観察しましょう。症状が疑われる場合は医療機関を受診しましょう。
- 帰宅時、食事の前のうがい、手洗いや、トイレの後の手洗いを丁寧に行いましょう。
- 鼻をかんだ後のティッシュなどの衛生管理にも気をつけましょう。
- タオルなどの共用は避けましょう。

グラフ 1：大島町ヘルパンギーナ報告週別届出症例数（平成 18 年～平成 19 年 16 週）



問い合わせ先
島しょ保健所大島出張所
電話：04992-2-1436
担当：熊澤、増田

ヘルパンギーナQ & A

Q1．ヘルパンギーナとはこういった病気ですか？

A1．毎年7月をピークに5月～9月に流行する病気です。突然の発熱で始まり、喉が赤くなり、口の中に水泡性の発疹が見られます。稀に髄膜炎や心筋炎など重症化することもあります。主に小児がかかります。

Q2．ヘルパンギーナはどうして起きますか？

A2．エンテロウイルスといったウイルスに感染することでヘルパンギーナにかかります。患者の咳や唾を吸い込むことや、ウイルスに汚染された手指を口元に持っていくことで感染します。ウイルスに感染後2～4日で症状が出現します。

Q3．ヘルパンギーナの治療はどのように行いますか？

A3．特異的治療法はありません。患者の症状に合わせた治療となります。

Q4．ヘルパンギーナはどのように予防すれば良いですか？

A4．症状が無くなった後も患者の便から2～4週間ウイルスが排泄されるので、トイレの後に手洗いを丁寧に行うことがとても大切です。それ以外の予防法としては、患者との密接な接触を避けること、外出から帰った後、食事の前などによくうがいや手洗いをすること、タオルの共用をしないことなどです。